

Hiroshima Association of Medical Technologists

一般社団法人 広島県臨床検査技師会

ホームページ <http://www.hiroringi.or.jp/>

(モバイルサイト <http://mw.hiroringi.or.jp>)



第32回広島県医学検査学会のお知らせ(広島市)



テーマ：変革する医療、今こそ挑戦の時

- ◆日時：平成27年2月28日(土)～3月1日(日)
- ◆場所：広島 YMCA 国際文化ホール(広島市中区八丁堀7-11)
- ◆プログラム

《第1日目》 2月28日(土)

- [13:30~14:45] 会員のための情報交換会 ～集まれ広臨技-いろんな情報教えます～
 (法改正に伴い大きな変化を求められている私達の状況を中心に水野会長による報告があります。)
- [14:55~17:00] シンポジウム 『検査最前線』
1. 当院の臓器移植関連検査について 河野真由(広島大学病院 診療支援部)
 2. 病理検査技師の新たな挑戦 坂根潤一(独立行政法人国立病院機構 呉医療センター)
 3. 質量分析装置の使用経験と日常業務への導入状況 高岡俊介(広島赤十字・原爆病院 検査部)
 4. 心房細動患者における左心耳壁収縮速度での新しい左心耳機能評価法 難波浄美(県立広島病院 臨床研究検査科)
- [18:00~] 懇親会 (ANAクラウンプラザホテル広島 3F アカシア)

第32回広島県医学検査学会ホームページ：
http://www.hiroringi.or.jp/2014p_meeting/index.html

◆プログラム

《第2日目》 3月1日(日)

[9:30 ~11:50]	一般演題
[9:30~9:48]	生理検査部門 2題
[9:49~10:15]	形態検査部門・病理 3題
[10:16~10:50]	形態検査部門・血液 4題
[10:51~11:25]	移植検査部門 4題
[11:26~11:50]	感染制御部門 3題
[12:00~13:10]	ランチョンセミナー 2題
[12:00~12:35]	1. シスメックス株式会社 『肝炎治療の最前線』 吉良臣介(済生会広島病院 消化器内科医長)
[12:35~13:10]	2. フクダ電子株式会社 『生理検査システムの現在とこれから』 野間 充(独立行政法人 地域医療機能推進機構 九州病院)
[13:25~14:15]	教育講演 変革する医療(橋技術)今こそ挑戦の時 『災害復旧で活躍する技術・橋梁、モバイルブリッジ』 有尾一郎(広島大学大学院 工学研究科・土木構造工学研究室 助教)
[14:20~14:35]	臨床検査プロモーションタイム
[14:35~15:35]	市民公開講座 『肺がんに対する低侵襲手術』 岡田守人(広島大学・腫瘍外科学 教授)

第32回広島医学検査学会 懇親会申し込みについて

懇親会参加ご希望の方は、下記の申込書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申込みください。

日 時：平成27年2月28日(土) 18時～
 会 場：ANAクラウンプラザホテル広島 3F アカシア
 会 費：6000円(学会受付時に徴収いたします)
 申込締切：平成27年2月13日(金) 先着150名まで
 参加申込先：FAX 082-502-6031(広臨技 事務所)
 問合せ先：広島市立広島市民病院 河野、永井まで TEL(082-221-2291)

第32回広島県医学検査学会 懇親会参加申込書

(参加施設名：)

会員番号	氏名

「レッドリボンキャンペーン in 広島 2014」活動報告

渉外法規部：大塚崇通

12月1日の世界エイズデーに合わせ、2014年12月6日（土）にレッドリボンキャンペーン in 広島 2014が開催されました。このイベントでは広島県、広島市、広臨技、NPO法人「りょうちゃんず」のほか多くの団体の協力を得て、HIV迅速検査及びエイズ予防啓発を実施し、エイズに対する正しい知識や理解の普及を図ることを目的としています。このイベントの開催までには、広島県、広島市の方との企画会議や、いろいろなところへ交渉や広報などを行いながら準備を進めていきました。多くの団体が協力することで、初めて開催できるイベントであると実感しまし

た。

今年は、広臨技10名、山陽女子短期大学10名、広島国際大学12名のボランティアスタッフ参加がありました。学生スタッフには雪の降る寒い中、啓発活動を頑張っていたいただきました。

広臨技のスタッフは、レッドリボンキャンペーン初参加者が多く心配しておりましたが、トラブルもなく無事イベントを終了いたしました。皆さんに感謝いたします。次回のレッドリボンキャンペーンも、多くのボランティアスタッフの協力お待ちしております。

「レッドリボンキャンペーン及び啓発活動」の報告

広島市健康福祉局保健部保健医療課報告より一部抜粋

1. 目的

12月1日の世界エイズデーに合わせて、HIV（エイズ）臨時検査及び受検啓発キャンペーンを実施し、エイズ感染の予防方法の周知や患者・感染者に対する差別や偏見の解消、HIV検査の受検促進等、エイズに対する正しい知識の普及啓発を図ることを目的として、特に近年、感染の拡大が懸念されている若年層を中心に普及啓発を図る。

2. 実施日時

平成26年12月6日（土）

啓発イベント： 13:00～18:00

HIV臨時検査： 14:00～17:30

3. 実施場所

啓発イベント：広島市西新天地公共広場と
その周辺地域

検査・相談：ユノ川産婦人科クリニック

4. 実施内容

西新天地公共広場にエイズ受検啓発ブース設置
ポスター展示

エイズ予防及び受検促進啓発用リーフレット

啓発用物品、コンドームを配布。

受検勧奨、相談・検査実施への誘導

5. 検査内容及び相談体制

プレカウンセリングと陰性の検査結果説明及びポストカウンセリングは、医師、NPO法人「りょうちゃんず」のピアカウンセラー、保健師、臨床心理士等が行った。

検査は広島県臨床検査技師会の臨床検査技師が実施した。

「レッドリボンキャンペーン in 広島 2014」レポート

12月6日、土曜日。広島市中区のアリスガーデンにて「レッドリボンキャンペーン in 広島」が開催されました。広臨技からもボランティアとして参加し、広島県、広島市、山陽女子短期大学、広島国際大学、さらにはメープルガイザーと協力して啓発品の配布と簡易検査を行ってきました。

当日は非常に寒く、時折雪もちらついていたため立ち止まって興味を示して下さる方は少ないかと予想していたのですが、何名かの方がポスターを見たり質問したりして下さいました。簡易検査については「思ったより少ない量の血液で検査できるので行きやすい。」などの意見を聞くことができました。



啓発品はポケットティッシュにコンドームやパンフレットを入れて配布したのですが、帰り道にパンフレットだけ捨ててあるようなこともなく、持ち帰った方みなさんがパンフレットに目を通してくれたらいいなと思いました。

エイズの知識が徐々に広がってきているとは思いますが、やはり性感染症なので私も含めて世間ではなんとなく恥ずかしい感じ、自分には関係ないような感じがあると思います。小中学校の保健の授業などでは「恥ずかしいことではない。早期発見すると死ぬ病気ではない。」と習いますが、やはりどこかタブーとされている話題のような感じがします。しかし昨年、広島市だけで18件の報告が出ており、決して少ない数字ではないと思います。はっきりとした数字を知るのは、いままで以上に自分自身のこととして考えるきっかけとなりました。『もし自分が感染していて気付いていないだけだとしたら、気付かないうちにパートナーに移してしまったら、もしパートナーが感染していたら・・・』と考えるとより恐ろしくなります。恥ずかしいなどと言っている場合じゃないと思いました。

今回ボランティアに参加して、まずは自分から検査を受けて正しい知識をつけていこうと思いました。

(広報部：中村あい)



レッドリボンキャンペーン in ひろしま

・・・に参加して

山陽女子短期大学 臨床検査学科1年

後藤ゆらり

私は今回このボランティアに参加して、エイズやHIVについてちゃんとした知識を持つことの大切さを知ることができました。

私はこのボランティアの事前授業以前、エイズはキスで伝染すると思っていました。実際エイズはキスで伝染することはほとんどないことを知り、中学・高校の保健の授業で習ったのにも関わらず、そのようなことも知らない自分が恥ずかしくなりました。また、このような誤った知識を持っている人は他にもたくさんいるのではないかと思います。

エイズは誰にでもうつる可能性があります。しかし感染経路は限られています。この二つをしっかりと知ることがエイズ患者への差別をなくす事、HIV感染を防ぐ事につながるのではないかと実感しました。

また、今回のキャンペーン活動では、なかなかエイズについて説明することができませんでした。しかしながら、多くの人が簡易検査を希望され、クリニックの待合室で待っていらっしゃる姿を見たとき、私はこんなに多くの人が関心を持っているのだと感動しました。そしてもっと多くの人に関心を持ってもらいたい、もっと多くの人にエイズの正しい知識を持ってもらいたいと思いました。そのためにもまず、私自身が正しい知識を身に付け、家族や友達などに伝えていこうと思います。





山陽女子短期大学 臨床検査学科1年
棚田弥和

私は今回、このボランティアに参加して、病気の関心度、認知度の高さを知りました。

エイズ予防のリーフレットを配りながら「この人達は一応受け取ってはいるが、本当にエイズやHIVがどんなものかわかっているのだろうか?」と思っていました。そう思ったのは分かりやすく説明する時間がなかなかないため、ただHIV検査を病院で行っているという案内を言うだけで終わっていたからです。

しかし、現実とは違いました。キャンペーン活動の休憩時間に検査を受けに行こうとクリニックへ行くと、予想以上に多くの方が待合室で順番待ちをしていらっしやいました。

その時、初めてこんなに病気のことを理解して訪れる人がいたのだと、恥ずかしながら思いました…ですが、驚くと同時に、検査を受けられた人々のようにもっと多くの人々に病気のことを知って理解してもらいたいと思い、その日の夜に友人に病気のこと、そして検査の大切さを伝えました。すると友人は「病気のことは知っていたけど、検査って簡単に済むんだね。今度検査行くからついてきてよ。」っと、快く私の唐突な話を受け入れてくれました。もちろんこれは特例だと思いますが、本当に嬉しくて感極まって泣いてしまいました。それぐらい嬉しく思いました。

私はこれを機に、周りの人からじわじわとでもいいから、より多くの人に病気のこと、そして検査の大切さを伝えられたらいいなと思いました。



➤ 受検者数 (男女別、年代別)

性別	男							女							合計
	10 19	20 24	25 29	30 代	40 代	50 代	計	10 19	20 24	25 29	30 代	40 代	50 代	計	
合計	0	5	5	13	5	2	30	6	4	12	4	0	1	27	57

➤ 参加団体及び従事者等

所 属	従事人数等	所 属	従事人数等
広島県	7名 (行政担当者等)	呉医療センター	4名 (街頭呼込等)
広島市	12名 (医師、保健師、行政担当者等)	広島大学病院	3名 (看護師、学生)
広島県臨床検査技師会	10名 (臨床検査技師)	山陽女子大学	10名 (学生ボランティア)
NPO法人りょうちゃんず	4名 (相談員、受付)	広島国際大学	12名 (学生ボランティア)
広島大学病院	3名 (医師、看護師)	広島国際学院大学	24名 (学生ボランティア)
広島県臨床心理士会	1名 (臨床心理士)	ソロプチミスト広島	5名 (街頭呼込等)
ユノ川産婦人科クリニック	1名 (看護師)	サンキ株式会社	1名 (街頭呼込等)
		合 計	95名

第 34 回広島県臨床検査精度管理向上研修会のご案内

◆日時：平成 27 年 2 月 11 日（水）14:30～18:00

◆場所：広島医師会館 2 階大講堂

1. 開会挨拶
2. 成績優秀施設への表彰
3. 第 4 2 回（平成 26 年度）精度管理調査結果の評価・解説

司会：小園内科・循環器科小園亮次 呉共済病院 丹下富士男

- | | | | |
|-------------|----------------------|-----------------|------|
| (1) 生化学・免疫 | 広島大学病院検査部 | 森本隆行 | |
| (2) 血液 | J A 広島総合病院 | 三舛正志 | |
| (3) 輸血 | 県立広島病院 | 藤井明美 | |
| (4) フォトサーベイ | | | |
| (病理) | 広島市医師会臨床検査センター 福原由美 | (細胞) 福山市民病院 | 山田貴之 |
| (血液) | 広島市立安佐市民病院 中島 静 | (生理) 広島市立広島市民病院 | 長島英子 |
| (微生物) | 済生会広島病院 榎山誠也 | (一般・尿定性) 呉共済病院 | 佐々木彩 |
| (5) 総評 | 県立広島病院 西阪 隆、KKR 吉島病院 | 室 暢彰 | |

4. 特別講演

「次世代臨床検査の創成に向けて～検査部長の立場から～」

講師 国際医療福祉大学熱海病院検査部教授 べ谷直人

座長 広島県臨床検査精度管理推進委員会委員長

広島大学病院検査部准教授検査部長 横崎典哉

5. 質疑応答

6. 閉会の辞

広島県臨床検査技師会会長 水野誠士

平成 26 年度主催：(社) 広島県医師会、(一社) 広島県臨床検査技師会

日本医師会生涯教育講座 3.5 単位 (CC : 1, 2, 3, 8, 9, 13, 15)

(一社) 広島県臨床検査技師会 (基礎-20 点)

各種研修会のお知らせ

生理機能検査・総合管理部門

合同研修会のお知らせ

■日時：平成 27 年 2 月 21 日（土）14:00～16:00

■場所：広島市立広島市民病院 10 階 講義室

■内容

演題 1 「モンスターペイシエント対策を考える」

講師 松尾久昭 先生

(シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティック株式会社)

演題 2 「呼吸機能検査を最大限楽しもう

—最大努力の見極め方—

講師 寺本弘二 先生 (熊本保健科学大学)

■問い合わせ先 県立広島病院検査科 難波浄美

TEL082-254-1818

血液研修会のお知らせ

～講義と鏡検実習（骨髄編）～

■日時：平成 27 年 2 月 21 日（土）14 時～18 時

■場所：広島大学医学部

基礎講義棟 2 階 形態実習室

■内容

講義 1 「悪性リンパ腫の診断と治療（仮）」

広島大学原爆放射線医科学研究所 一戸辰夫先生

鏡検実習、症例解説

呉医療センター 中川 智博 技師

広島赤十字・原爆病院 永田 衣里賀 技師

福山市民病院 松岡 里佳 技師

■問合せ先：広島市立安佐市民病院 臨床検査部

中島 静 TEL (082) 815-5211

事務局からのお知らせ

年会費口座振替のご案内

■年会費口座振替のご案内

平成27年度年会費17,000円（日臨技10,000円／広臨技7,000円）が、登録されている銀行口座から平成27年2月27日（金）に自動引落されます。

※銀行口座の残高をご確認くださいませようお願いします。

■退会手続きのご案内

*事前に退会の手続きは出来ますので、希望される方はお早めに手続きを完了させてください！

➤ 日臨技ホームページより退会届用紙をダウンロードし日臨技へ郵送で提出してください。

1月31日迄に退会手続きの処理がされないと平成27年度会費が自動引落されます。

（2月1日以降に退会の申請をした方は口座から次年度の会費が自動引落されます。）

<平成27年3月31日で技師会を退会予定の方へ>

3月31日までに退会申請を行ってください。

引落された年会費は自動的に戻ってきませんので、「年会費返金願い」を日臨技へ提出して各自で返金手続きをお願いします。

（なお返金は3月末までに退会申請し、日臨技に受理された方のみ対象となります。）

*詳しくは日臨技ホームページをご確認いただきお早めのお手続きをお願いいたします。

【問い合わせ先】 広島県臨床検査技師会 事務所

TEL : 082-502-6011

FAX : 082-502-6031

Email : info@hiroringi.or.jp

『検体採取等に関する厚生労働省指定講習会』の開催及び受講について

◆臨床検査技師等に関する法律が改正

地域における医療及び介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律（平成26年法律第83号）により、臨床検査技師等に関する法律（昭和33年法律第76号）の一部が改正され、平成27年4月1日から、臨床検査技師の業務範囲に一定の検体採取が追加されることとなります。

また、今後、臨床検査技師等に関する法律施行規則（昭和33年厚生省令第24号）の一部を改正し、平成27年4月1日から、臨床検査技師の業務である生理学的検査に嗅覚検査及び味覚検査を追加される予定です。

◆検体採取等に関する指定講習会の開催へ

このような業務範囲の拡大に伴い、

平成27年4月1日の時点で既に臨床検査技師免許を取得している者等については、「厚生労働大臣が指定する研修」を受講することが義務付けられます。

それをうけて日臨技では、「検体採取等に関する厚生労働省指定講習会実施要領」に基づき、厚生労働大臣が指定する講習会を順次開催することと致しました。会員の皆様におかれましては受講されますようご案内いたします。また、お近くの非会員の方々にも、この趣旨を伝えて講習会の受講を促していただきますようお願いいたします。

◆指定講習会の受講方法は

日臨技ホームページで案内

なお、本講習会の開催状況については、日臨技のホームページのトップ画面に専用のバナーを設け

(広臨技のホームページにもバナーを掲載)、受講申込を受付けています。

中国地区では第1回を3月21、22日(2日間)開催の予定としています。その後、平成27年度の事業で数回開催する予定でおります。開催が決定次第順次、日臨技ホームページで案内していくことに

なっておりますので、時々ホームページを確認いただくか、広臨技会員専用メーリングリスト「広臨技MLコミュ」に登録して情報を確認していただきたいと思っております。

(広臨技会長 水野誠士)

検体採取等に関する厚生労働省指定講習会

■日程：平成27年3月21日～22日

■会場：広島工業大学専門学校 8F 807室

■受講料会員：10,000円 非会員：30,000円

***平成27年3月21日～22日広島工業大学専門学校である指定講習会は応募人数に達したため応募は締め切りとなっています。次回の研修予定は未定ですが、決定次第、別途ご案内いたします。**



☆求人のご案内 (平成27年1月6日現在)

受付NO	受付日	施設名	雇用形態	雇用期間	募集業務内容	その他・勤務時間など
266	12月25日	緑井脳神経外科	正社員 パート	随時	MRI など臨床検査 全般、看護補助	勤務時間 8:30～18:30
265	12月2日	グランドタワー メディカルコート	正社員	平成27年 2月～	臨床検査業務全般	40歳まで 勤務時間 7:30～17:00、 または8:30～17:15
263	10月9日	馬場病院	正社員 臨時職員	随時	臨床検査全般	日曜・祝日の勤務あり 勤務時間 8:30～17:30 (シフト性)
262	10月6日	武市クリニック	正社員	随時	検査全般	勤務時間 9:00～18:00 9:00～13:00 (交代で週1回)
261	9月8日	太田川病院	正社員	随時	臨床検査業務全般	勤務時間 8:30～17:15
260	8月12日	広島大学大学院 病理研究室 (第二病理)	パート	随時	病理学研究教育 補助業務	勤務時間 9:00～17:00 (多少のシフトは可能)
259	8月12日	荒木脳神経外科	正社員	随時	臨床検査業務全般	呼出あり
258	7月25日	県立広島病院	臨時職員	9/25～ 1/14 予定	臨床検査	勤務時間 8:30～17:15



広報部あて専用 E-Mail < koho@hiroringi.or.jp >

速報原稿の送付、広報部へのご意見等をお願いします。

モバイル端末からのメール送信も可能です。

次号速報の原稿〆切りは、2月9日です。